

津島市タウンミーティング（津島市商店街連合会）会議録

日程 令和5年7月5日（水）

午後6時3分～7時35分

会場 津島商工会議所4階大ホール

1 事前質問（要旨）

① 商店街の電柱地中化について

市職員

初めに、令和3年度から実施している社会実験について、商店街連合会の皆様にご協力いただき御礼申し上げます。令和4年度の開催では、前年度の3倍近い方に参加いただき、「市がとうとう動き出した」というようなお声もいただいている。これも市と民間の皆様、そして商店街連合会の力添えがあったからこそと思っている。今年度も社会実験の開催に向けて協議を進めている。

電柱の地中化について、平成30年から無電柱化に関する法律が変わり、国や県に対して無電柱化に向けた事前相談を行っているところ。令和3年度では、無電柱化に向けて天王通りを中心に設計を行っている。愛知県では、電力事業者と打合せを行っている。無電柱化は国の5年サイクルの計画があり、市においては令和8年から始まる「無電柱化9期」の中で事業が実施できるよう、愛知県と打合せを行っている。なお、無電柱化については愛知県が実施するものであるが、実施後の道路は市が整備していくこととなり、無電柱化後の歩道の整備等は市が進めていく。その際は商店街の照明等設計を進める中で、商店街の皆様とお話しさせていただきたく思う。また、2029年は、天王通りが開通してからちょうど100年になる。そこに向けて整備が終わるように進める予定。

② 駅前の再開発について

市職員

今年の3月31日に市と名古屋鉄道株式会社、UR都市機構とまちづくり協定を結んだ。このことは駅前開発に向けた1つの士気にできたと考えている。名古屋鉄道株式会社については、資本投資計画があるが、この中には津島駅の再開発に関する事は明記されていない。名古屋鉄道は株式会社であり、株主や投資家の声に対応しなくてはならない。名鉄津島駅の再開発・再整備について早期の予定が立てられるよう具体的な協議を進めていく。駅の東側についても、名古屋鉄道株式会社に示しながら開発を進めていく予定。

また、名古屋鉄道株式会社にもまちの魅力を踏まえた駅を作っていただく必要があると考える。単に駅を作ればいいというだけではなく、「まちから見た駅」という視点からどのような機能があるか、どのような駅舎にすべきかが重要と考える。そのために社会実験を開催しながらまちの魅力を高めていくほか、天王川公園や津島神社、旧いちい信用金庫天王通支店の利活用を進め、できるだけまちの魅力を示しながら津島駅の駅舎の

部分も進めていきたいと考えている。時間はかかるかもしれないが、少しずつ進めていきたいと考えている。

市長

補足説明させていただくと、広報紙6月号に先程申し上げた協定のことと、駅周辺のまちづくりについて「まちづくり再生元年」として載っている。また、5月号にはゲートウェイプロジェクトについて詳細なことが記載されている。これを読んでいただくと今後の市の考えについて大体のことが分かると思う。

正面玄関を名鉄津島駅に位置付けた。一昨年の12月に10年に1度しか変えることができない市のまちづくりの一番基本となる「都市計画マスタープラン」を策定した。これからは天王通り、津島神社、天王川公園を含め、名鉄津島駅を正面玄関という位置付けで進めていくこととした。更に、東西南北にそれぞれ玄関を位置づけた。今までは、東西南北の各地域が建物を建ててはいけな調整区域のため、どのようにまちづくりを進めていく必要があるのか検討した結果、工場を誘致するという形をとった。宇治町や白浜町、鹿伏兎町等に企業誘致を行い、約73%が埋まった状態。現在も声をかけて進めているところ。今後は新しく3か所増やそうとしている。このような形でそれぞれの地域の価値を高め、移住定住の人口を増やしていくシナリオであった。

話を戻すと、正面玄関を都市機能誘導エリアに位置付け、ホテルを誘導したり様々な都市機能を誘導していくことを今後進めていく。1番大事なことは、マスタープランを当時作ったメンバーの中に名古屋鉄道株式会社やUR都市機構が入っていること。これまでは、コンサル会社に作らせていたが、今回は血が通ったまちづくりの基本計画を進めた。これからは東西南北でもまちづくりの拠点とし、玄関として整備していく。今後は津島市のまちづくりの動きが大きく変わっていく。

③ 商店街と市の連携について

市職員

商店街と市の連携について、津島市商店街連合会が毎年行っている各事業に補助金交付という形で津島市は連携・協力をさせて頂いている。今年度も実施を予定されている商店街の大きなイベントとして、住民や子ども達が参加できる「商店街ぐるっとまわって大ジャンケン大会」や「^{つとま}240スタンプラリー」などあるが、商店街や街のにぎわいと活性化のため、大いに盛り上げていただけるものと期待している。

ここで商店街と関係し、津島市が今年度実施する事業を3つ紹介させていただく。

1つ目としては「プレミアム付商品券」の発行。この事業については、7,500円分の商品券を5000円で販売する事業で、1人上限2冊で計36,000冊発行する。この参加店舗の募集は8月4日まで行っているため、まだ参加申込されていない店舗の方は、検討いただきたい。申込先は津島商工会議所となる。なお、このプレミアム付商品券の案内となる申込ハガキが付いたリーフレットを来週月曜日から市内の全戸にポスティングを開始する。商品券申込は7月18日から7月31日まで、商品券使用は9月15日から1

月 31 日まで、使用された商品券の換金は 9 月 19 日から 2 月 9 日まで。毎年、使用済み商品券の換金を忘れる店舗があるため期間内に忘れずに換金いただきたい。期間を過ぎると換金ができない。

2 つ目は、「つしまちあるきキャンペーン事業」で昨年度と同規模にて今年度も実施する。名古屋鉄道乗車券と参加飲食店等で使えるクーポンがセットになった券を 9 月ごろから名古屋鉄道で販売する。この期間は絵付きの御朱印も神社やお寺で取得できる。今年にはさらに「beyond 家康つしま湊事業」と銘打った事業を、つしまちあるきキャンペーン事業と一緒に実施する。武将ゆかりの地をガイドボランティアと巡る「まちあるき」や、津島市にゆかりのある武将に関連する商品を市が「beyond 家康つしま湊事業商品」として認定し PR をしていくなど、つしまちあるきキャンペーン事業をバージョンアップして実施する予定。

3 つ目は、「ウォークブルストリート事業」で今年から 3 年間実施する。今年度は、現状把握として天王通り周辺の、空き家・空き店舗の調査やアンケート、地元への聴取りを行う。これまでに皆様の協力を得て津島市と津島小商い創出支援機構で、空き家・空き店舗調査を 150 件ほど行い、10 件ほどの店舗の出店を結びつけてきた。また、今年度はシャッターアート事業として、どちらかの店舗のシャッターに絵を描くことを企画・実施する。絵のコンセプトやデザイン、誰が描くか等、現在、他市町村の事例調査や内容を調整中。もし、商店街の方でシャッターアートにご協力いただけるような方がお見えであれば教えていただけると大変ありがたい。

他に商店街と関係する事業としては、5 月に、津島市と津島商工会議所、株式会社日本政策金融公庫名古屋支店で事業承継協定を、この地域で初めて締結した。中日新聞にも掲載されたので、ご存知の方もお見えになるかと思う。店舗の後継者がお見えでない方は、津島商工会議所にご相談いただくことで株式会社日本政策金融公庫と連携した後継者の探しを支援することができるようになった。津島市商店街連合会は、若い方の入会も増えており会員数も増加傾向と伺っているが、そういった方も含め、会員の皆様方、また、地域の皆様方の、御理解・御協力をいただきながら、街の活性化を商店街と市で連携して進めてまいりたいと考えている。

2 意見交換（要旨）

テーマ「2 大プロジェクト！『まちづくり再生と子育て支援』」

津島市で進めているまちづくり再生・子育て支援施策の紹介・進捗状況について市長より説明し、参加者と意見交換を行った。

（1）天王通りの無電柱化及び商品券施策について

意見

事前質問に答えていただいたところだが、もう少し聞きたいことがあるため質問する。電柱地中化について、具体的に工事の期間とその影響による交通規制についてはどのく

らの規模を予想されているのか。工事の期間中は交通が不便になり客足に影響することが懸念される。また、商店街の事業について年間補助金をいただいている、ありがたいと思っている。プレミアム付商品券の事業についても名古屋市長より応援すると声をいただいたりしている。これからも補助金については、増額・継続をしていただければと思う。

商品券は紙媒体を使用しているところだが、地方へ行くとQRコードの決済で買い物をするとその場で20%の還元がされるなど、外からの来訪者にも還元されるような施策がある。そういうものがあると「もっと買い物しよう」「これも買おう」というような外からのお金が入ってくるきっかけになる。外からのお金も大切なものであるため、プレミアム付商品券のような施策と並行して、今申し上げたものも検討いただけると良いと思う。

私は制服を扱っていることから、子どもたちのことに関心を持つ。市は子どもたちの為に、手厚い支援や環境の整備をしているということだが、現在、子どもたちは10%の規模で減少傾向にある。来年度の新入学生も減っているし、この傾向は加速することが懸念される。市の施策と子育ての家庭の数が繋がっていないという現状だと思うので、市の施策を周知し、もっと子を持つ家庭が市内に住んでいただけるような整備を進めてほしい。調整区域の関係で住めない地域もあると思うが、子育てがしやすい住宅区域の整備も検討してほしい。

市長

子どもの出生率が深刻である。市が思い切って進めている子育て施策は、県内のみでなく国内でもトップクラス。財政上見通しを立て、子ども医療費の段階的な拡充等してきているが、これまで市から去った世帯はたくさんいる。是非皆さんは市の施策について外へ積極的に発信いただきたい。多くの人が市の施策に関心。反応がない。マザーテレサの言葉に「愛の反対は無関心」という言葉がある。市が今まさに変わっていく姿を知ってほしい。

名古屋鉄道株式会社が持っている土地もとても広く、難しいところがあるが、3月31日に名古屋鉄道株式会社を抱き込んで協定を結んだ。これを機に株主総会でも津島駅にそれなりの位置づけをしてもらおうと躍起になっている。時間はかかるが手順が必要。津島は動き始めている。しかし、市民の皆様に対し、それを見える化しないと実感がないままである。だからこそ、天王川公園のような「見える」施策も必要。そこから第2弾、第3弾と進めていく。シナリオとしては自分の中にある。それを具現化するために皆様には「津島が変わってきた、良くなってきた」と声をあげていただきたい。すぐに全てができるわけではない。東公園のプールは今クローズしており、生涯学習センターの大ホールも休止している。すぐに全てができるわけではない。何を優先的に行うか、今は子育て支援であり、市は日本トップクラスになった。しかし、この施策の結果が見えてくるまで3年くらいかかる。これから、不動産業界等にもPRしていく。先程「beyond 家康つしま湊事業」の紹介があったが、まさしく「beyond」、乗り越えていく。

日本トップクラスの子育て支援とトップクラスのデジタル・プログラミング教育、ボーダーレスの時代、領事館交流プロジェクト、これらを津島で受けてもらうというシナリオであるため、これから浸透し、「転居したのは失敗だった」「津島に住もう」と思っただけのように進めている。その受け皿となるような施策も準備を進めてきた。今後もいろんな施策を実施していく。どうしても施策の結果が出るのは時間がかかるが、皆様でこの施策を周りにお伝えいただければと思う。

市職員

先程の質問についてお答えする。まずは電柱地中化に関する工事だが、令和8年から5か年、令和12年までの事業で進める予定。この5年間の中で無電柱化を終える予定で愛知県と協議を進めている。次に交通規制については、様々な無電柱化の方法があるため、工事中ずっと通行止めになることはない。沿道の方に対して、できるだけ交通規制が無いように進めていく。

市長

天王通りは県道だが、それに繋がっている本町筋も歴史的風致の観点から無電柱化の方が良いと考えられるため、そのあたりも無電柱化できないかと考えている。

市職員

再開発を進めるにあたり、良質な景観を作っていくために「自然的な景観」「歴史的な景観」「都市的な景観」を作りたいと思っている。これらの景観計画をルール化し、3年間かけて進めていく。

市職員

デジタル決済で利用できる商品券について、経済活性化のために、そのような施策の事例もある。今年のプレミアム付商品券もデジタル決済で行うかどうか検討しているところだが。デジタルに弱い方もおり、お店の方も電子決済は難しいというところもある。そのような層にも配慮しながら進める必要があると考えている。ちなみにこのプレミアム付商品券は、近隣だと津島市と蟹江町あたりが今年度行う。

市長

プレミアム付商品券は昨年度と同規模で2億7千万円の予算で行う。商品券を配るだけの市町村もいるが、津島市では、自己負担有で5割のプレミアムをつけていることで経済効果を波及させている。

意見

商品券の件は、市民の方も喜ぶものではあるが、観光という点において、天王祭や秋まつりといった季節のイベントに合わせて来訪者が増える時に津島にお金を落とすだけでなく手立てとしてQR決済の割引のようなことを臨機応変に対応いただくと良いと思う。また、旅行に行くと地域券のようなものをもらえるのだが、大抵がQRコードになっていて、使えない人も必死に使おうとする。携帯に読み込んで使う形やそのまま提示して使えるようなものもある。どの人もこの形に慣れてきているので是非検討いただければと思う。

(2) 市が実施した施策の実績について

意見

市の財政が改善されたということだが、私が以前から何度もお話ししている公道に駐車場がある件について、このようなことがあったことに対して市がほとんど何もしなかった。市の財政状況が改善されたことについて、4つの住宅があったと思うが、これらが改善されたから今の市の施策ができたという考え方はできないのか。つまり市長がうまくやっけてこられたというより以前に、負の遺産を整理されたという考えはできないのか。市長が一生懸命されてきたことは理解できるが、4つの住宅に関することの計算は入っているのか、どういう計算をされているのか、この資料を見るといつも疑問に思う。

市長

4つの住宅が何か分かりかねる。

意見

東洋町住宅などの国家予算で改良工事を行ったところ。これらのおかげで市の負の遺産が無くなったこと。市民病院についても、私たちは他のところで助成金が無くなってゼロベース査定で助成金が無くなった。それは何故かと聞いたら、市民病院にお金を払う人がいなくて大変なことになっているという話。ここにいる前任の課長からも聞いているため間違ったことではないと思う。非常に言いにくい話ではあるが、市長が一生懸命されてきたことは実感として理解できるが、公道に駐車場化した市役所はどんな市役所だったのか。市長からいただいたものでは、「市道公園東線の道路区域の取扱いの長年に渡る市職員の不適切な対応についてお詫びいたします」とあるが、物の見方を考えれば、公道に駐車場化してあった。ここにある資料のとおり、市長が一生懸命されてきたことは実感として分かるのだが、このようなことをやっていた人たちができなかったのは、そういう問題があったからではないのか。物差しの当て方が違うのではないかということ言いたい。

※時間の関係上、回答無しで次の意見者が発言

(3) シャッターアート事業について

意見

先程説明されていた空き店舗のシャッターに絵を書く事業について、それは空き店舗だけでなく、今営業している店舗も対象となるのか。

市職員

先程より詳しく説明すると、天王通りで営業されている店舗や家があるが、それらが閉まっている時にも、街に「にぎわい」を加えるために、シャッターの上にアートを加えることを検討している。書き方としては例えば、お店の名前だけ書くというようなものではなく、注目されるような絵で、かつ街に合ったデザインを書くというものだが、誰がどのように書くかは検討しているところ。

意見

あくまでも、空き店舗だけという考え方か。

市職員

空き店舗に限らず、営業されている店も含める。アートの内容について、こちらのコンセプトについてお互いに合意できれば営業しているかどうかは問わないので、また相談してほしい。